

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 一級河川 太田川水系 三篠川 災害復旧助成事業に係る詳細設計業務（その4）

事業・工事名

調査目的及び調査対象 河川 構造物基礎

ボーリング名	Bor.No.5	調査位置	広島市安佐北区白木町	北緯	34° 34' 17.7700"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年 4月24日～ 令和2年 4月27日	東経	132° 40' 04.8200"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
孔口標高	TP 130.70m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	5.00m	度	0°	向	0° 水平 鉛直 90°
使用機種	東邦D-0	試験機	東邦D-0	コ	ア
エンジン	ヤンマーNFD-10型	ポンプ	東邦BG-3C	鑑定者	ボーリング責任者

標尺	標高	深度	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 /測定月日	標準貫入試験						試料採取		室内試験	削孔月日
											深度	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度	試料番号	採取方法			
	130.00	0.70	シルト混じり砂		暗茶				表土。細砂主体。シルト分を含有する。竹根多く混入する。	4/27 0.72		1.15	3	2	1	6	1.15	P-5-1	⊙ 比重 含水 程度	4/24
1	129.25	1.45	砂礫		茶灰 rd2			礫はφ5~40mm程度。砂は粗砂主体。礫は円~垂円礫である。	4/24 1.35	1.45		3	2	1	6	1.45				
2	128.70	2.00	砂礫		茶灰			礫はφ5~50mm程度。砂は粗砂主体。層下部では硬質な流紋岩を混在する。			2.00	貫入不能	50	0					4/27	
3			流紋岩		青灰			CH級流紋岩。岩片は硬質で、ハンマー軽打により金属音を発する。GL-3.5mまでは10~15cmの柱状コアで採取される。GL-3.5m以下では亀裂間に粘土状の充填物が認められる。GL-3.5mより亀裂間隔はなくなり、最大40cm程度の柱状コアで採取される。GL-4.2~4.4m付近に方解石脈が認められる。			3.00	貫入不能	50	0						
4											4.00	貫入不能	50	0						
5	125.70	5.00									5.00	貫入不能	50	0						